

# 委託業務成績評定表

考查基準（土木）

（測量その他）

平成29年4月1日

採点表

(監督員)

(1/2)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	管理技術力	実施体制	20 (30)	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>管理技術者届、工程表、業務計画書が遅滞なく提出された。</li> <li>管理技術者は業務の遂行に必要な技術力を有していた。</li> <li>担当技術者は業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等を十分に理解していた。</li> <li>人員配置において積極的なあるいは柔軟な取組みが行われ、業務の実施体制は十分満足できるものであった。</li> </ul>
		指示・協議への対応	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>打合せ記録簿が提出された。</li> <li>打合せ記録簿の記載内容は打ち合わせ結果を適切に反映していた。</li> <li>発注者からの指示、協議への対応に遅れはなかった。</li> <li>受注者内部、関係機関との意思疎通が十分に図られ、指示及び協議が迅速、円滑に行われた。</li> </ul>
		分担業務間の調整(*建築)	-	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>発注者からの指示に基づき、分担業務間の調整を行った。</li> <li>調整の結果、期待される効果が得られた。</li> <li>分野間(意匠、構造、設備)の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。</li> <li>ミスは無く、調整記録等も完備されていた。</li> </ul>
		工程管理	30 (40)	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。</li> <li>工程計画は業務内容、照査時期、打合せ時期等の業務のプロセスを明記していた。</li> <li>業務進行状況の適切な連絡により、工程計画にほぼ即して進行していることが確認できた。</li> <li>関係者・関係機関との積極的な調整、業務の効率的な実施等により、業務の円滑な進捗が図られた。</li> </ul>
		品質管理(照査技術者がいる場合)(*土木)	20 (-)	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>業務計画書等に照査体制が記載されていた。</li> <li>業務の主要な区切り毎に照査が行われた。</li> <li>チェックリスト等の品質管理の記録により、品質の管理がされたことを確認できた。</li> <li>業務を実施する部署でISO9001等の品質管理システムが導入され、そのシステムに基づき業務が行われている。</li> </ul>
		小計	100							①
専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解(*土木)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>業務計画書に必要事項が記載されていた。</li> <li>当該業務の目的、内容が理解されていた。</li> <li>業務計画書に業務内容を具体的に分かりやすく記述していた。</li> <li>関連業務の状況等業務遂行に関する様々な状況を十分に理解していた。</li> </ul>
		必要情報の把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>業務着手時点において、必要な情報がリストアップされていた。</li> <li>業務執行にあたって、必要な情報収集がなされた。</li> <li>業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。</li> <li>重要情報がとりまとめられ、提供された。</li> </ul>
		打合せ資料の内容	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>打合せ資料に大きなミスがなかった。</li> <li>打合せ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。</li> <li>打合せ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。</li> <li>適用する諸基準類のない業務、難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。</li> </ul>
		小計	100							①

採点表

(監督員)

(2/2)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	イ・「施工計画」なし	現場条件、施工条件等の把握	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」			<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地域の地理的条件、環境条件等を把握していた。</li> <li>設計において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。</li> <li>詳細な現場調査の実施により、設計上重要な条件が把握できた。</li> <li>契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。</li> </ul>	
			小計	100			①		
		ロ・「施工計画あり」	現場条件、施工条件等の把握	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」			<ul style="list-style-type: none"> <li>当該地域の地理的条件、環境条件等を把握していた。</li> <li>設計において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。</li> <li>詳細な現場調査の実施により、設計上重要な条件が把握できた。</li> <li>契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。</li> </ul>	
			施工計画	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」			<ul style="list-style-type: none"> <li>必要事項を記載した施工計画が提案された。</li> <li>施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。</li> <li>工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。</li> <li>当該工事箇所における施工上の留意事項が、施工段階毎に適切に整理する提案がなされた。</li> </ul>	
		小計	100				①		
		コスト把握能力 [設計業務を対象]	コスト把握能力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」			<ul style="list-style-type: none"> <li>工事費に関するコスト把握能力を有していた。</li> <li>概算工事費計算書が適切に取りまとめられた。</li> <li>コスト縮減に係わる提案があった。</li> <li>ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。</li> </ul>	
	小計		100				①		
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明、プレゼンテーション	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」			<ul style="list-style-type: none"> <li>内容が整理され、理解しやすい資料となっていた。</li> <li>図表等を用いることにより、理解しやすい工夫がされていた。</li> <li>説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。</li> <li>説明を補足するための的確な資料が周到に用意され、質問に対して的確に回答がなされた。</li> </ul>	
			小計	100				①	
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」			<ul style="list-style-type: none"> <li>契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。</li> <li>業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。</li> <li>業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。</li> <li>高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、水準の高い業務成果が得られた。</li> </ul>	
			的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」			<ul style="list-style-type: none"> <li>契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が、成果品として漏れなくまとめられている。</li> <li>構造計算書、数量計算書が整理され提出された。</li> <li>図面表記など記載内容が整理され、理解しやすい表現になっていた。</li> <li>参考資料の作成・提出等により、契約図書にある事項や指示事項が整理され、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。</li> </ul>	
			ミスの有無	30	評価細目番号=1⇒「1.0」 "=2⇒「0.8」、"=3⇒「0.6」 "=4⇒「0.4」、"=5⇒「0.2」			<ol style="list-style-type: none"> <li>業務の過程でミスが全くなかった。</li> <li>業務の過程で、誤字脱字等簡易なものであった。</li> <li>業務の過程でミスを指摘し修正させたことがあった。</li> <li>業務の過程でミスを指摘し修正させたことがたびたびにあった。</li> <li>業務の過程で成果品の品質に大きな影響を及ぼす重大なミスがあった。もしくは検査時点で重大なミスが判明した。</li> </ol>	
小計			100				①		

採点表

(総括評定員)

(1/1)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優 標準 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力 提案力改善力 [加点评価]	積極的な提案	60	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 "=1⇒「0.8」、"=2⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該業務遂行段階で積極的に提案がなされた。</li> <li>・当該業務の特性を考慮しつつ、高度あるいは有効な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。</li> </ul>	
		関係者・関係機関との調整・合意形成	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 "=1⇒「0.8」、"=2⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注者からの指示に基づき、調整・合意形成のための資料が円滑に作成された。</li> <li>・関係者、関係機関との調整や合意形成のために作成された資料の内容が優れていた。</li> </ul>
		小計	100	①						
	取組姿勢	責任感積極性 倫理観 [加点评価]	責任感積極性	60	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理技術者、担当技術者がそれぞれ積極的かつ責任を持って業務に取り組み、円滑に業務が執行された。</li> <li>・打合せの時期や内容について積極的な提案があり、業務が執行された。</li> <li>・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。</li> <li>・発注者の指示だけでなく、広く住民等の視点に立って、公平・不偏な態度を保ち、誠実に業務に取り組んでいた。</li> </ul>
			社会的配慮 環境配慮	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 "=1⇒「0.8」、"=2⇒「1.0」					
		小計	100	①						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。</li> <li>・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。</li> <li>・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。</li> <li>・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、水準の高い業務成果が得られた。</li> </ul>	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」、"=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」、"=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が、成果品として漏れなくまとめられている。</li> <li>・構造計算書、数量計算書が整理され提出された。</li> <li>・図面表記など記載内容が整理され、理解しやすい表現になっていた。</li> <li>・参考資料の作成・提出等により、契約図書にある事項や指示事項が整理され、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。</li> </ul>
		ミスの有無	30	評価細目番号=1⇒「1.0」 "=2⇒「0.8」、"=3⇒「0.6」 "=4⇒「0.4」、"=5⇒「0.2」						
		小計	100	①						
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失			評価細目チェック数 1つ毎に3点減点					<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。</li> <li>・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。</li> <li>・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。</li> <li>・業務実施体制に問題があった。</li> <li>・その他（理由：）</li> </ul>	
	守秘性に伴う過失			評価細目チェック数 1つ毎に3点減点（チェックは1つまで）						<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。</li> <li>・その他（理由：）</li> </ul>
				⑥						
				⑦						

採点表

(検査員)

(1/1)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
専門技術力	業務執行技術力	十分な技術力	100	評価細目チェック数⇒「0.6」 "1⇒「0.8」、"2⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> <li>当該業務に必要な技術基準、マニュアル、仕様書等が十分に理解されていた。</li> <li>当該業務に対応可能な十分な技術力を有していた。</li> </ul>
		小計	100	①					
コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	100	100	評価細目チェック数⇒「0.6」 "1⇒「0.8」、"2⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> <li>質問に対して、論理的な説明により、的確な回答がなされた。</li> <li>説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。</li> </ul>
		小計	100	①					
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> <li>契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。</li> <li>業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。</li> <li>業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。</li> <li>高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、水準の高い業務成果が得られた。</li> <li>契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が、成果品として漏れなくまとめられている。</li> <li>構造計算書、数量計算書が整理され提出された。</li> <li>図面表記など記載内容が整理され、理解しやすい表現になっていた。</li> <li>参考資料の作成・提出等により、契約図書にある事項や指示事項が整理され、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。</li> </ul>
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 "1⇒「0.4」、"2⇒「0.6」 "3⇒「0.8」、"4⇒「1.0」					
		ミスの有無	30	評価細目番号⇒「1.0」 "2⇒「0.8」、"3⇒「0.6」 "4⇒「0.4」、"5⇒「0.2」					
		小計	100	①					
<ol style="list-style-type: none"> <li>業務の過程でミスが全くなかった。</li> <li>業務の過程で、誤字脱字等簡易なものであった。</li> <li>業務の課程でミスを指摘し修正させたことがあった。</li> <li>業務の過程でミスを指摘し修正させたことがたびたびにあった。</li> <li>業務の過程で成果品の品質に大きな影響を及ぼす重大なミスがあった。もしくは検査時点で重大なミスが判明した。</li> </ol>									

○ 事故等における減点等

(1) 事故等による減点

当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し入札参加停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、下表を参考として15点まで減点することができる。

受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準	点 数
<input type="checkbox"/> 1. 入札参加停止1か月以上 (－15点)	0 点
<input type="checkbox"/> 2. 入札参加停止1か月未満 (－10点)	0 点
<input type="checkbox"/> 3. 文書注意 (－5点)	0 点
<input type="checkbox"/> 4. 口頭注意 (－3点)	0 点
減点小計	0 点

該当項目なし

【上記で評価する場合の適応事例】

1. 入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
2. 発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
3. 当該業務関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。
4. 一括再委託、請負を行った。
5. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
6. 打ち合わせ協議又は検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
7. 当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、又は重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
8. その他

理由：

(2) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書の瑕疵担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の評定点に対して下表を参考として20点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、評定が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準	点 数
<input type="checkbox"/> 1. 故意又は重大な過失により瑕疵修補又は損害賠償の実施 (－20点)	0 点
<input type="checkbox"/> 2. 瑕疵修補又は損害賠償の実施 (－10点)	0 点
減点小計	0 点

該当項目なし